

修練医・研修医 レクチャー
～小児循環器の基本～

2017年10月21日（土） 午後1時30分から
セミナー室1（第一臨床研究棟 地下1階）

小児循環器学は成人循環器学と違い、発生解剖学、循環動態学に加えて心肺機能の成長が複雑に絡み合った理解が必要となります。小児循環器疾患に触れる機会は専門医にならない限りは決して多くないかもしれませんが、実際 先天性心疾患は100出生に1名発生する頻度の高い疾患です。不整脈や後天性心疾患を含めると罹患率は1/50で、専門性が高い疾患のなかで最も高いと言われていています。今後の一般診療または集中管理含めて、小児循環器の基礎的な考え方、特徴などを知ることは大変有意義なことと考えますので、興味がある先生は、以下講義に参加していただければと思います。

京都大学病院 小児科
馬場 志郎

- 1) 身体所見のとりかた
胸部 X 線の見方
- 2) 小児正常心電図の特徴・一般的不整脈の対応
心エコーの見方
- 3) 小児心不全の管理（肺血流増加・減少のコントロール）
小児心臓カテーテル検査の流れ
- 4) 川崎病 Update
 - ・ 飲食自由です
 - ・ 参加していただいた方には、スライドの元ファイル、小児循環器使用薬剤マニュアルをお渡しします。